

---

# 2023年 9月期 第1四半期 決算説明資料

---

2023年 2月10日  
株式会社 学研ホールディングス

# INDEX

---

<b>2023年9月期 第1四半期決算概要</b>	<b>…… P.05</b>
<b>教育分野 第1四半期決算</b>	<b>…… P.14</b>
<b>医療福祉分野 第1四半期決算</b>	<b>…… P.23</b>
<b>決算補足資料</b>	<b>…… P.29</b>

---

## 2023年 9月期 第1四半期決算 エグゼクティブサマリー

売上高	: 382億円 (前期比+3.6%)
営業利益	: 6.1億円 (前期比-54.3%)
経常利益	: 5.8億円 (前期比-49.3%)
四半期純利益	: 2.3億円 (前期比-67.0%)

- ・ 連結売上高は増収を維持。医療福祉分野の積極的な新規開設が貢献
- ・ 営業利益は光熱費や防疫費、原材料等の高騰によりコスト上昇が響いたことに加え、10-12月は出版事業で児童書・学習参考書等の販売が低調だったことを主因に減益
- ・ 四半期純利益は営業利益減に伴う減少に加え、前期に実施した投資有価証券売却による利益が消失したため2.3億円となった

# 2023年 9月期 第1四半期 トピックス

## 医療福祉分野は新規施設積極開設で厳しい外部環境下でも成長継続

- ・ 新規 **11** 施設開設。 コロナ第8波や建設費高騰のなかでも拡大
- ・ 高齢者住宅の入居率は**過去最高の94.5%**を達成
- ・ 光熱費は2.5億円増<sup>※</sup>も堅調な事業収益とコストコントロールでカバー

## 教育分野は原料高など収益悪化要因が顕在化した デジタル化や旅行需要の回復により減益幅を圧縮

- ・ 出版事業では旅行需要増により「地球の歩き方」が好調な一方他ジャンルの販売が低調となり減益
- ・ 塾・教室事業はバーチャル・スマート・キャンパス(ViSC)の導入順調
- ・ 園・学校事業はオミクロン株長期影響から回復フェイズへ

---

# **2023年 9月期 第1 四半期 決算概要**

---

# 2023年9月期 第1四半期決算 連結業績サマリー

※単位未満は四捨五入です。

売上高

**382.1** 億円

前年同期比

**3.6%** ↑

医療福祉分野の新規店積極開設で着実に増収

営業利益

**6.1** 億円

前年同期比

**54.3%** ↓

コスト高、書籍主要ジャンル販売低調に伴い減益

経常利益

**5.8** 億円

前年同期比

**49.3%** ↓

持分法投資損失の減少

EBITDA

**13.3** 億円

前年同期比

**35.0%** ↓

営業利益減に伴う減少

四半期純利益<sup>※</sup>

**2.3** 億円

前年同期比

**67.0%** ↓

前期に実施した投資有価証券売却による利益消失

※親会社株主に帰属する四半期純利益

# 2023年9月期 第1四半期セグメント別業績サマリー

単位：億円

セグメント	事業	FY2022 1Q実績		FY2023 1Q実績		増減（対前期）	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
<b>教育分野</b>		<b>181.4</b>	<b>7.9</b>	<b>177.2</b>	<b>3.0</b>	<b>- 4.2</b>	<b>- 4.9</b>
	教室・塾	79.4	6.6	76.7	4.8	- 2.6	- 1.8
	出版コンテンツ	67.1	1.8	66.3	- 1.8	- 0.8	- 3.6
	園・学校	34.9	0.4	34.1	0.5	- 0.8	+0.1
	のれん	-	- 0.8	-	- 0.4	-	+0.4
<b>医療福祉分野</b>		<b>171.9</b>	<b>6.7</b>	<b>190.0</b>	<b>6.4</b>	<b>+18.2</b>	<b>- 0.4</b>
	高齢者住宅	74.2	2.3	86.9	1.8	+12.7	- 0.6
	認知症グループホーム	84.0	5.3	88.4	5.5	+4.4	+0.2
	子育て支援	13.7	0.2	14.8	0.3	+1.1	+0.0
	のれん	-	- 1.2	-	- 1.2	-	±0.0
<b>その他</b>		<b>15.6</b>	<b>2.8</b>	<b>14.8</b>	<b>1.5</b>	<b>- 0.7</b>	<b>- 1.2</b>
<b>調整額</b>		<b>-</b>	<b>- 4.2</b>	<b>-</b>	<b>- 4.9</b>	<b>-</b>	<b>- 0.7</b>
<b>グループ合計</b>		<b>368.9</b>	<b>13.2</b>	<b>382.1</b>	<b>6.1</b>	<b>+13.2</b>	<b>- 7.2</b>

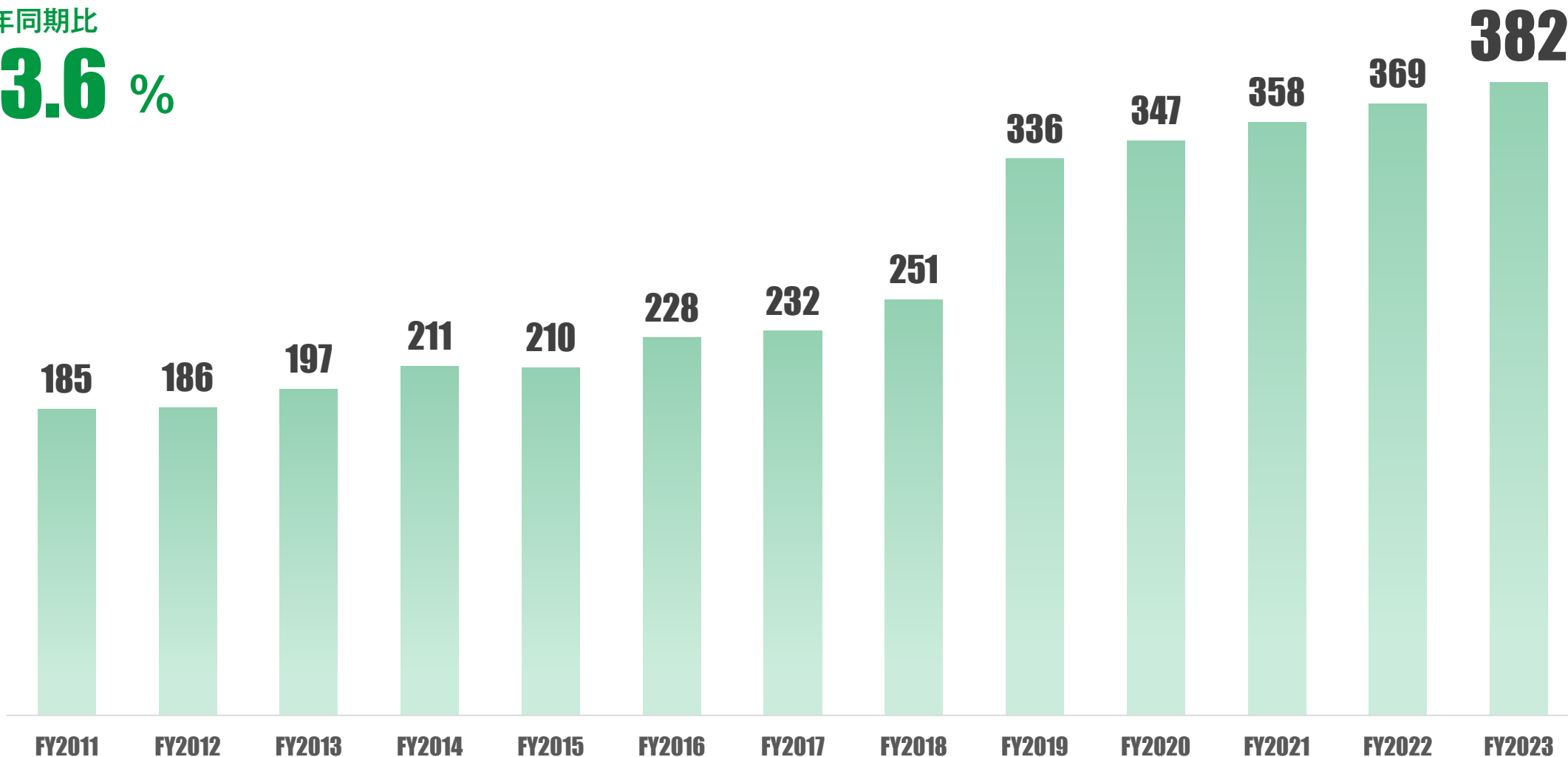
※単位未満は四捨五入のため、合計値が合わない箇所があります。

# 第1四半期 売上高推移

単位：億円

前年同期比

**+3.6 %**



※単位未満は四捨五入です。

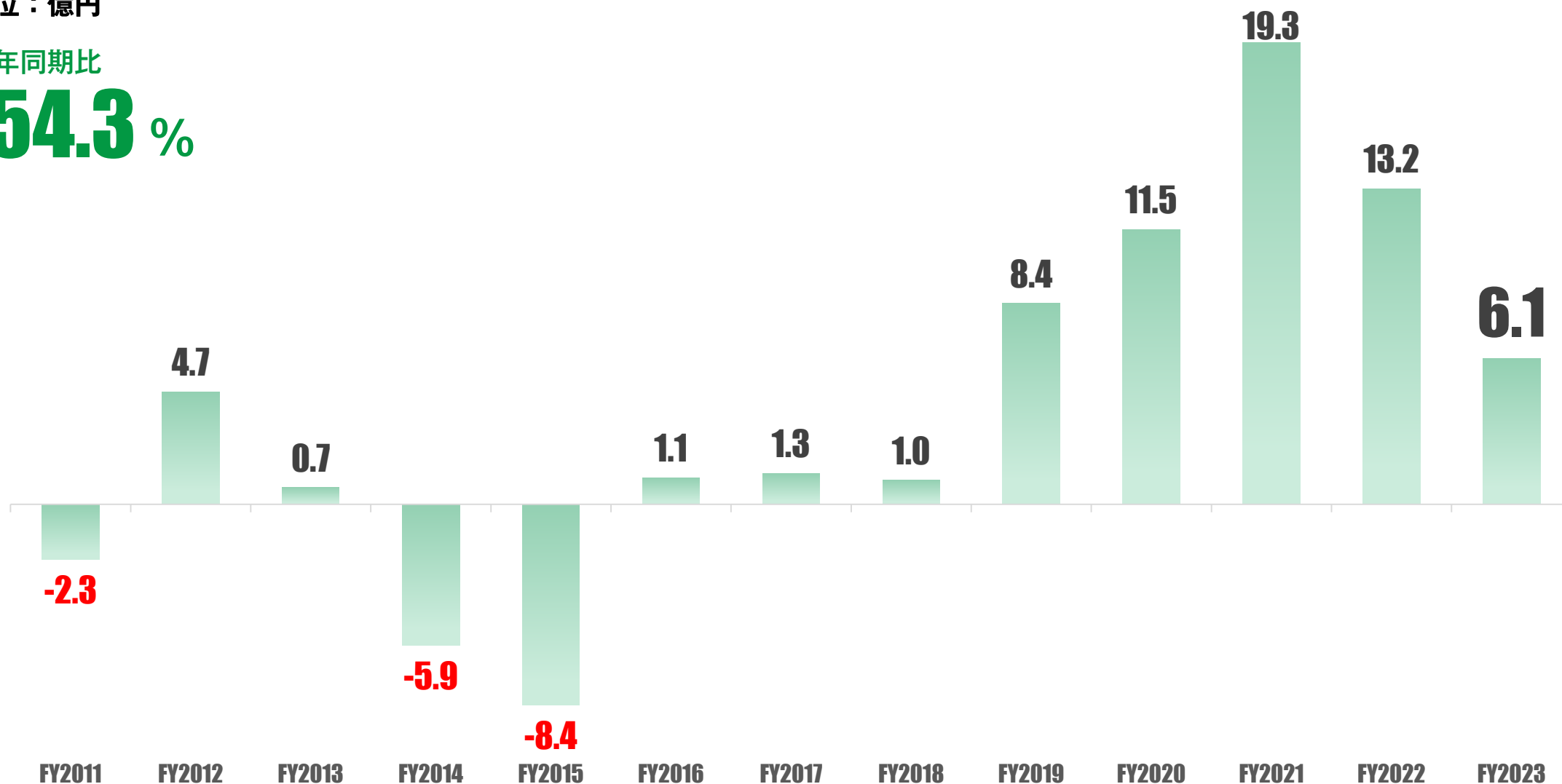


# 第1四半期 営業利益推移

単位：億円

前年同期比

**-54.3%**



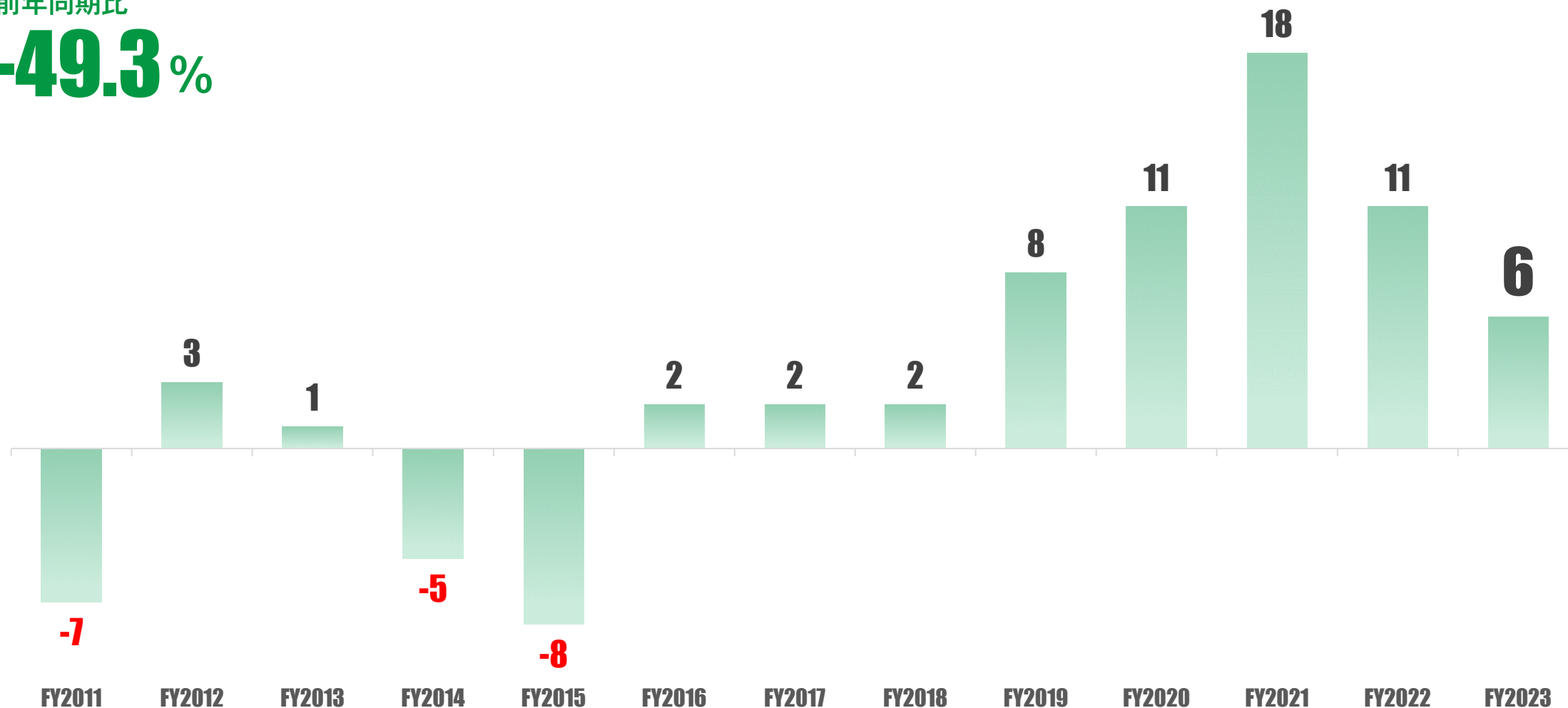
※単位未満は四捨五入です。

# 第1四半期 経常利益推移

単位：億円

前年同期比

**-49.3%**



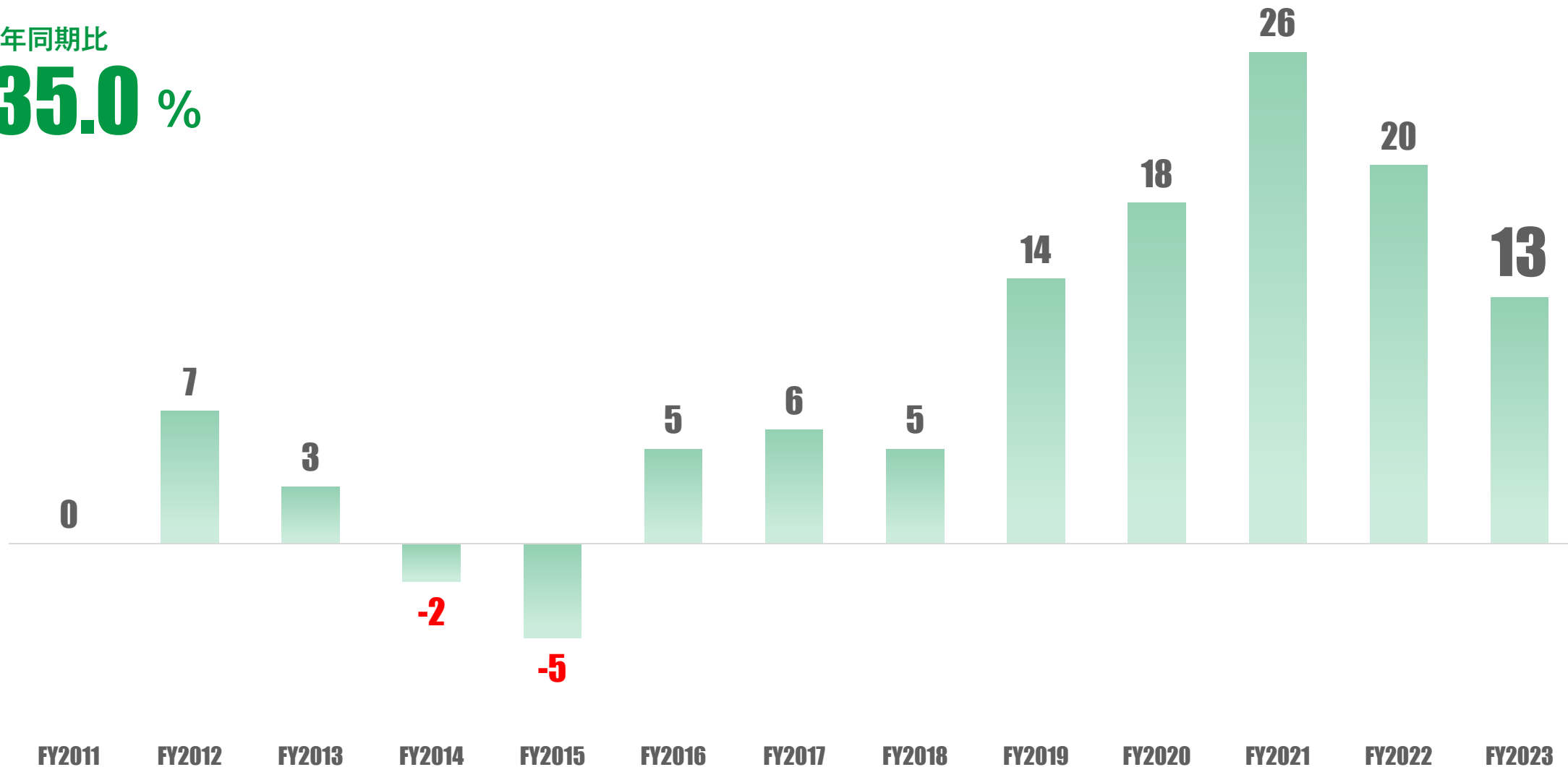
※単位未満は四捨五入です。

# 第1四半期 EBITDA<sup>※</sup> 推移

単位：億円

前年同期比

**-35.0 %**



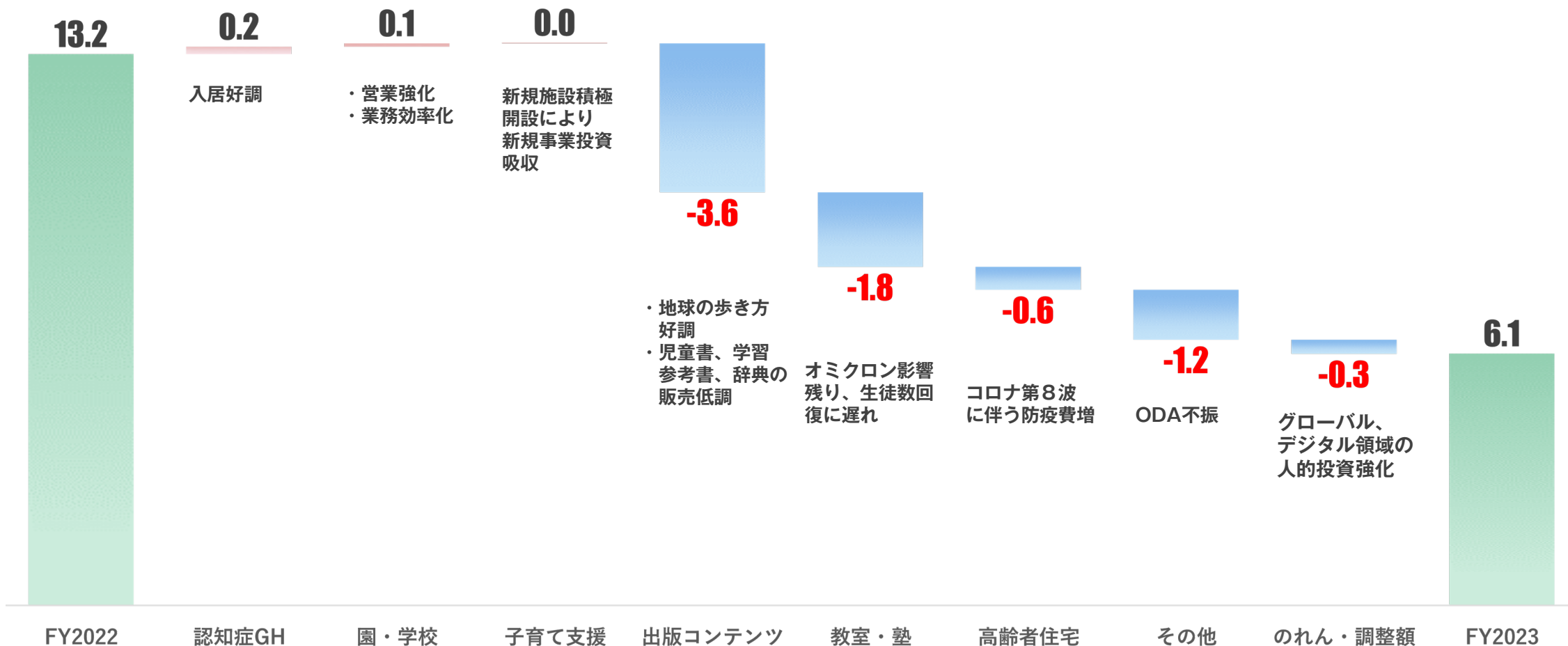
※営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算です。

※単位未満は四捨五入です。

# 第1四半期 営業利益 増減分析

単位：億円

オミクロン株拡大影響の長期化と、急激な物価高騰に伴い幅広い事業で減益

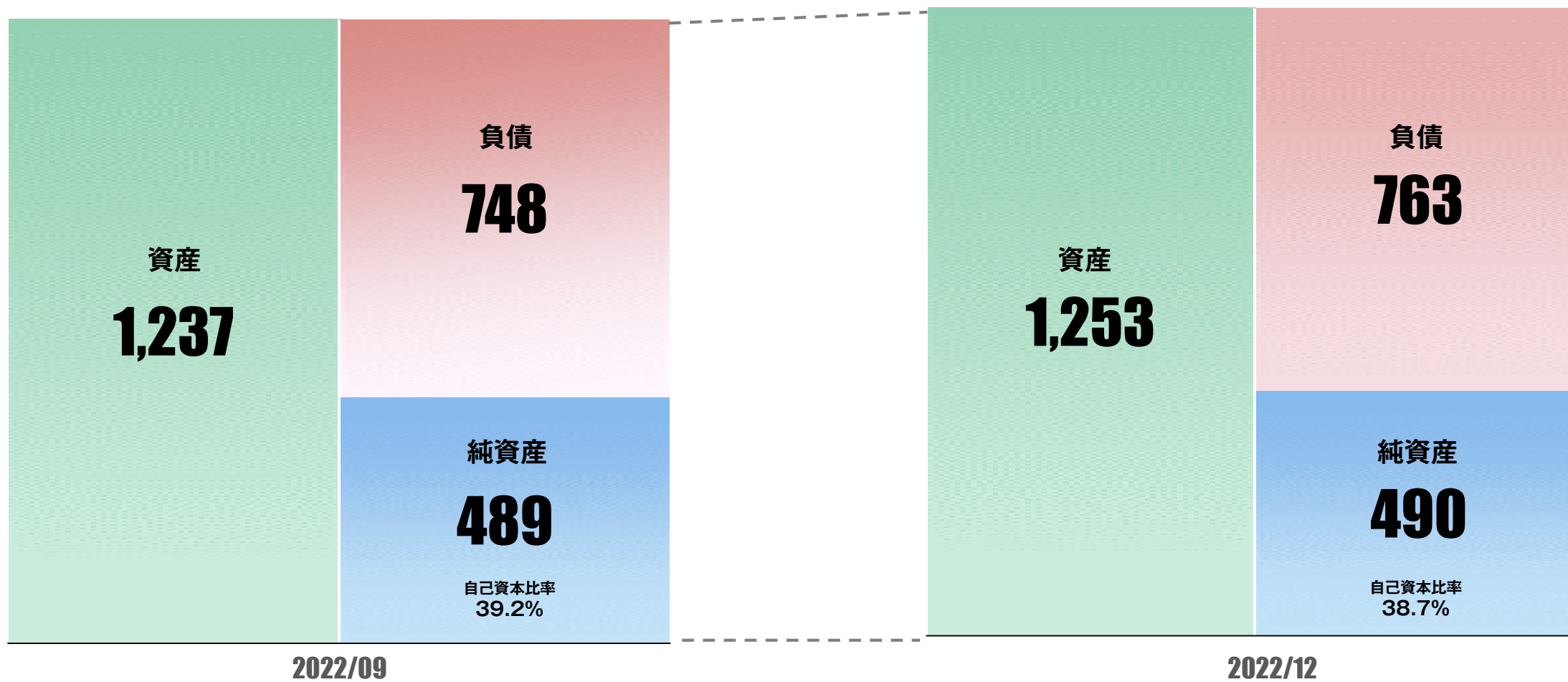


※単位未満は四捨五入です。

# 連結財政状態

単位：億円

売上増に伴う運転資金増加と成長投資で資産増加



※単位未満は四捨五入のため、合計値が合わない箇所があります。

---

# 教育分野 第1四半期決算

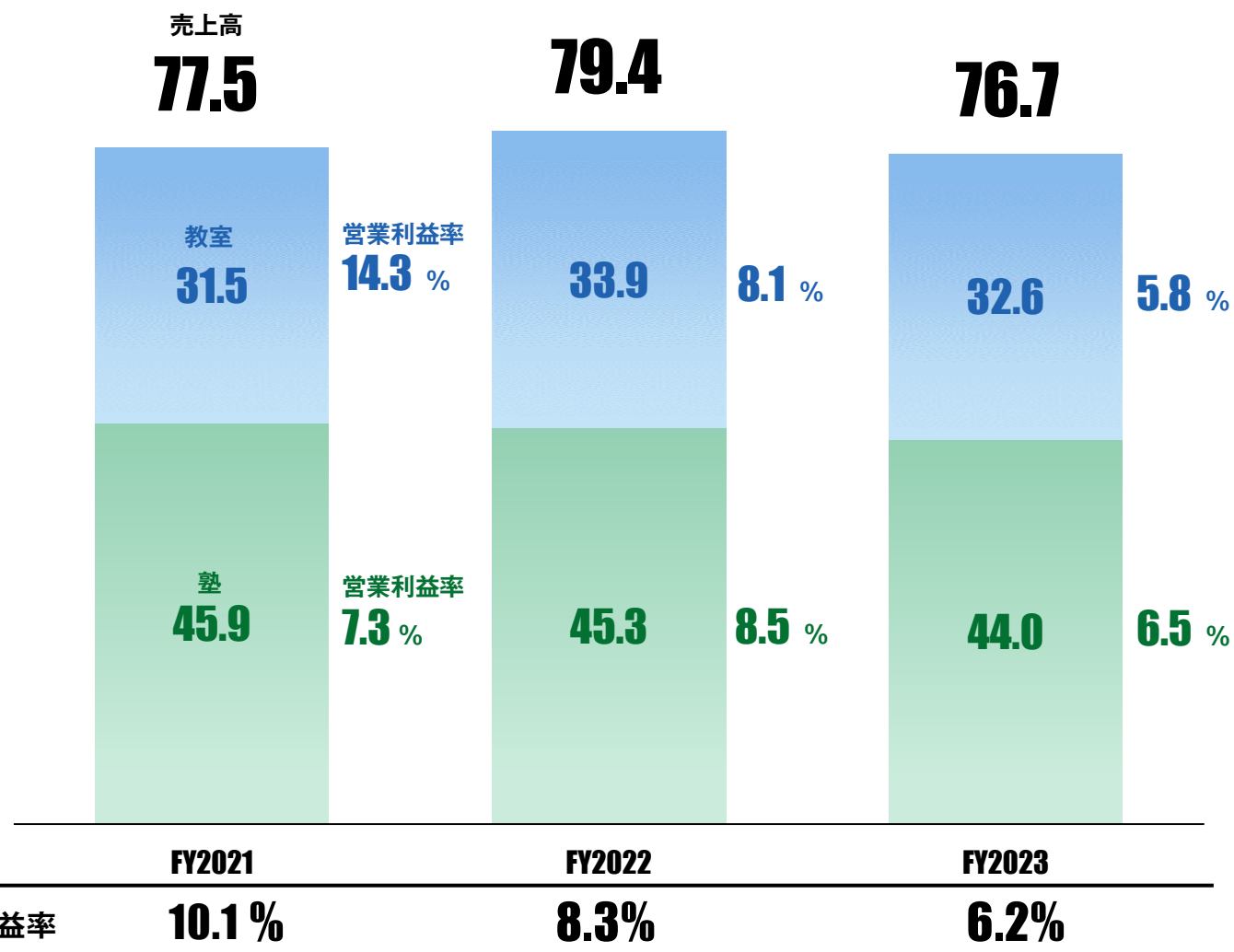
---

幅広く子どもたちの学びを支援する3事業を展開。社会人向けのサービスも拡充しています。

- 1)教室・塾事業…………… 日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営
- 2)出版コンテンツ事業… 児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等を制作・販売
- 3)園・学校事業…………… 幼保園等への物販や教科書・教材の制作・販売。企業向け研修も展開

# 教室・塾事業 第1四半期決算サマリー

単位：億円



## ポジティブ要素

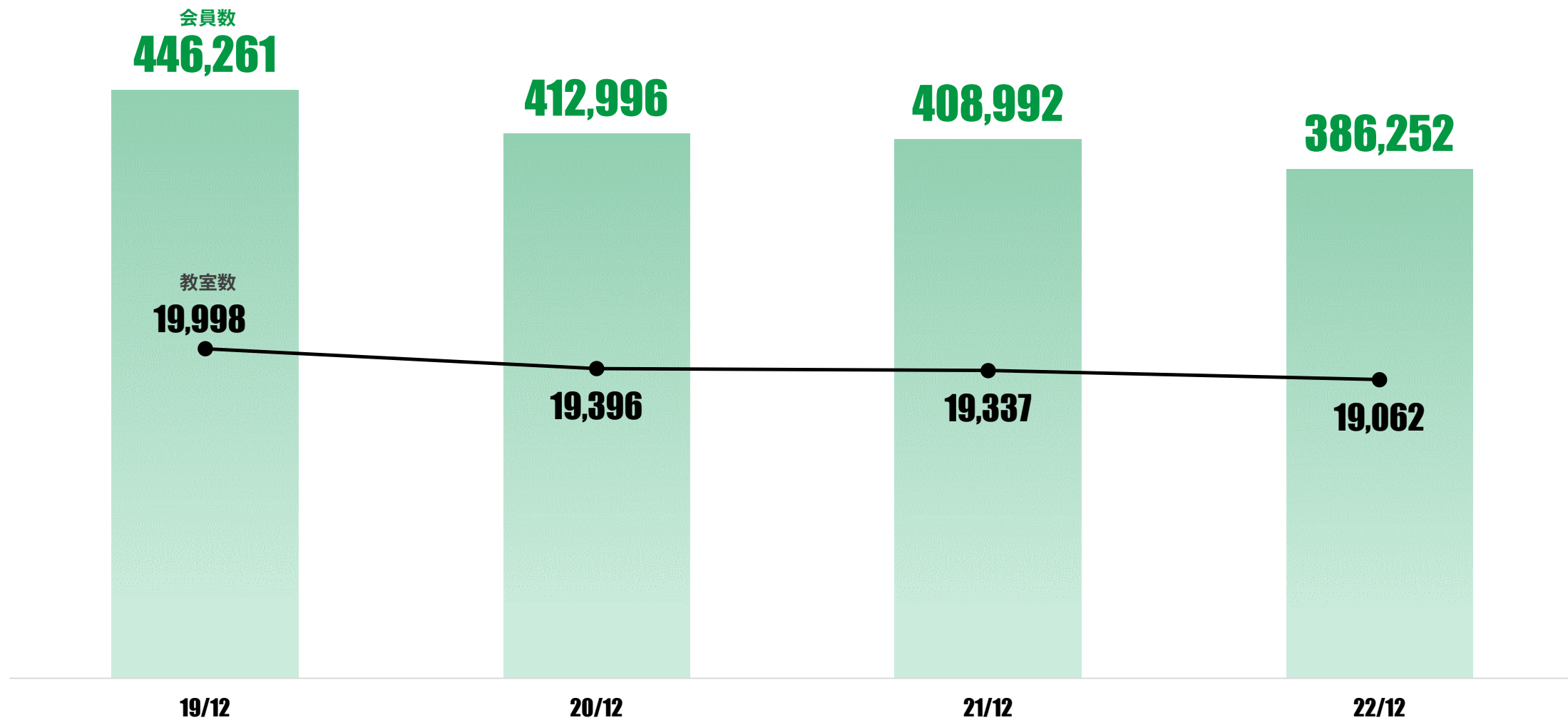
- ・各社の中・上位層の生徒数推移は堅調に推移
- ・バーチャル・スマート・キャンパス（ViSC）の導入が順調に進行中

## ネガティブ要素

- ・昨年の春期・夏期募集の最盛期にコロナ感染拡大期が重なり、会員・生徒数の回復が遅延

※単位未満は切り捨てです。

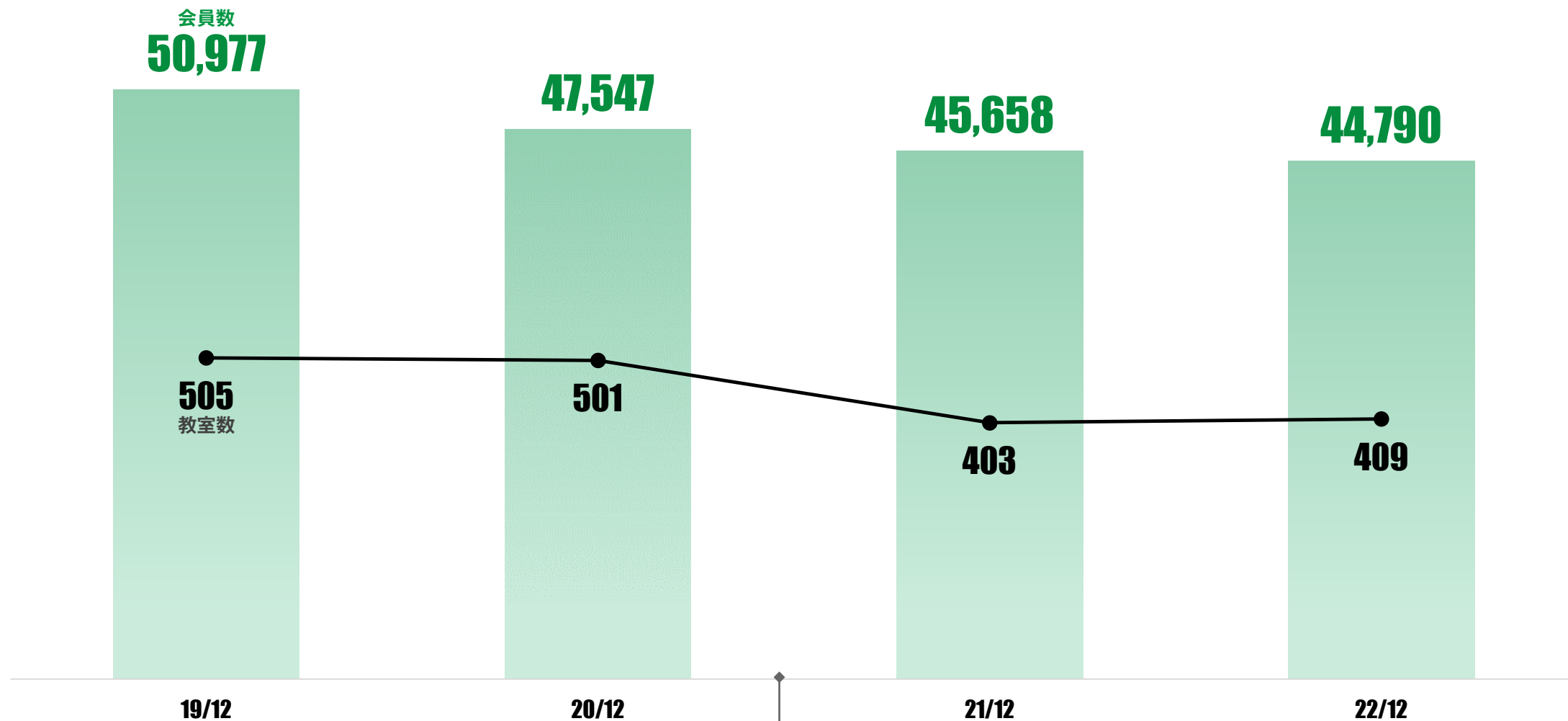
# 教室事業 会員数・教室数



※会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。事業譲受に伴い、2020年9月以降には小学館アカデミー、2021年7月以降にはめばえ教室の実績を含みます。



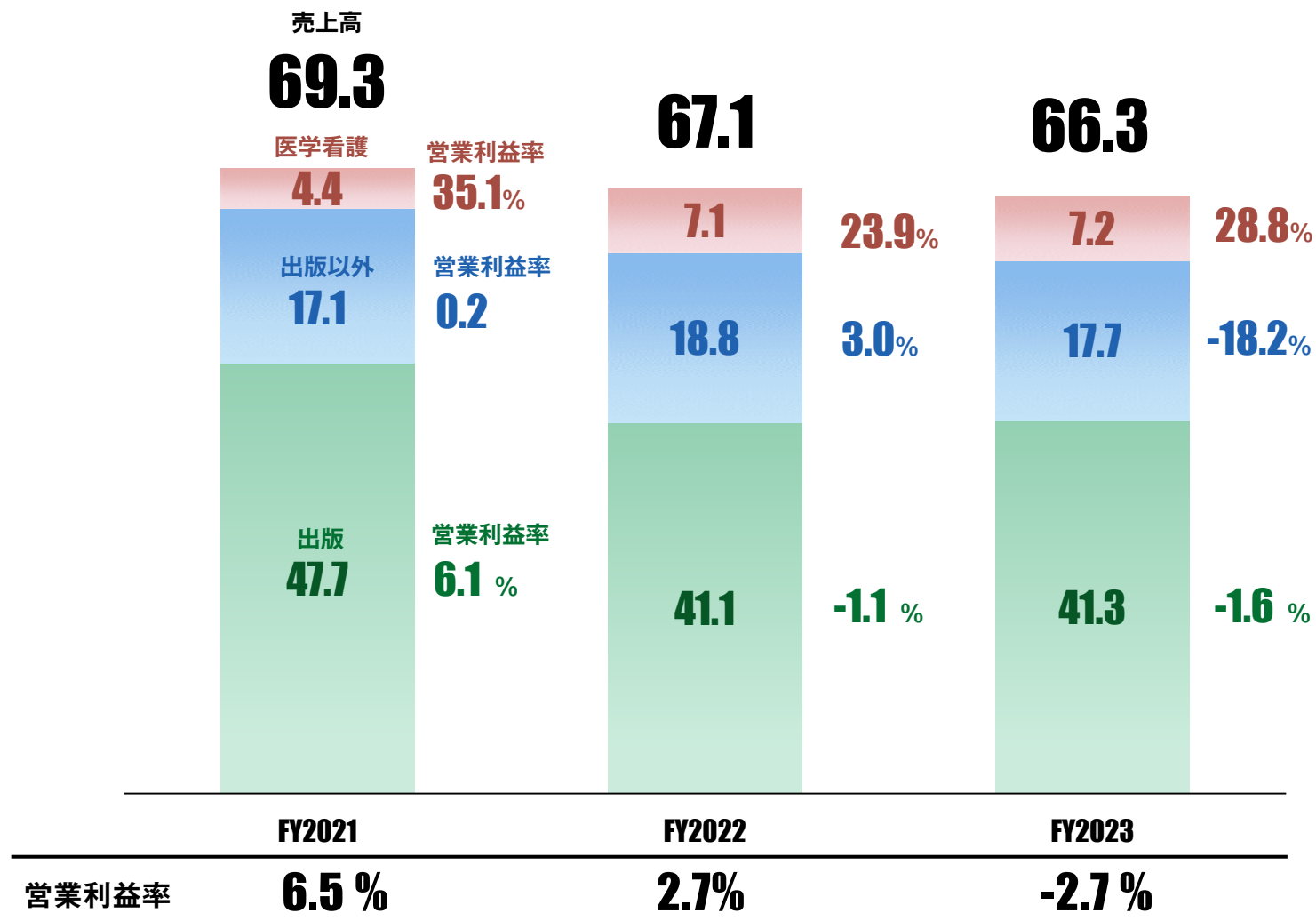
# 塾事業 会員数・教室数



※2021年2月に学研アイズ、同3月にSIGN-1をそれぞれ収斂しました。

# 出版コンテンツ事業 第1四半期決算サマリー

単位：億円



## ポジティブ要素

- ・(株)地球の歩き方の地図ガイド本が好調継続
- ・看護師eラーニング事業の業績順調
- ・オンライン英会話事業好調
- ・体験型英語学習施設TGGの利用者数が回復傾向

## ネガティブ要素

- ・児童書・学参書・辞典の販売低調
- ・玩具市況低迷
- ・原材料費や物流費などのコスト上昇

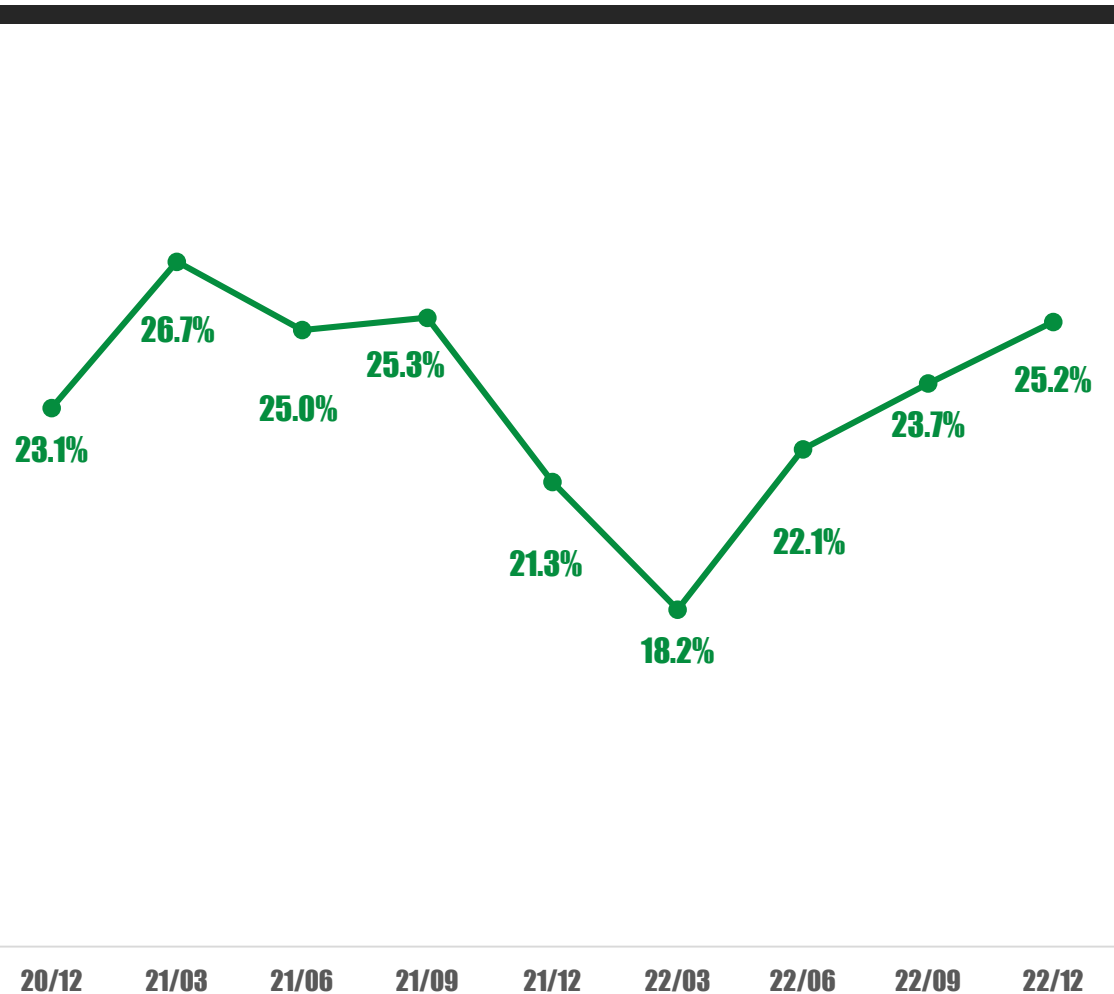
※単位未満は切り捨てです。

# 出版事業 書籍新刊点数／返品率

## 書籍新刊点数 ※1

	20/12	21/12	22/12
児童書	43	56	46
学習参考書	37	19	27
実用書	38	40 ※2	60
ムック	8	7	6
その他書籍	19	19	24
合計	145	141	163

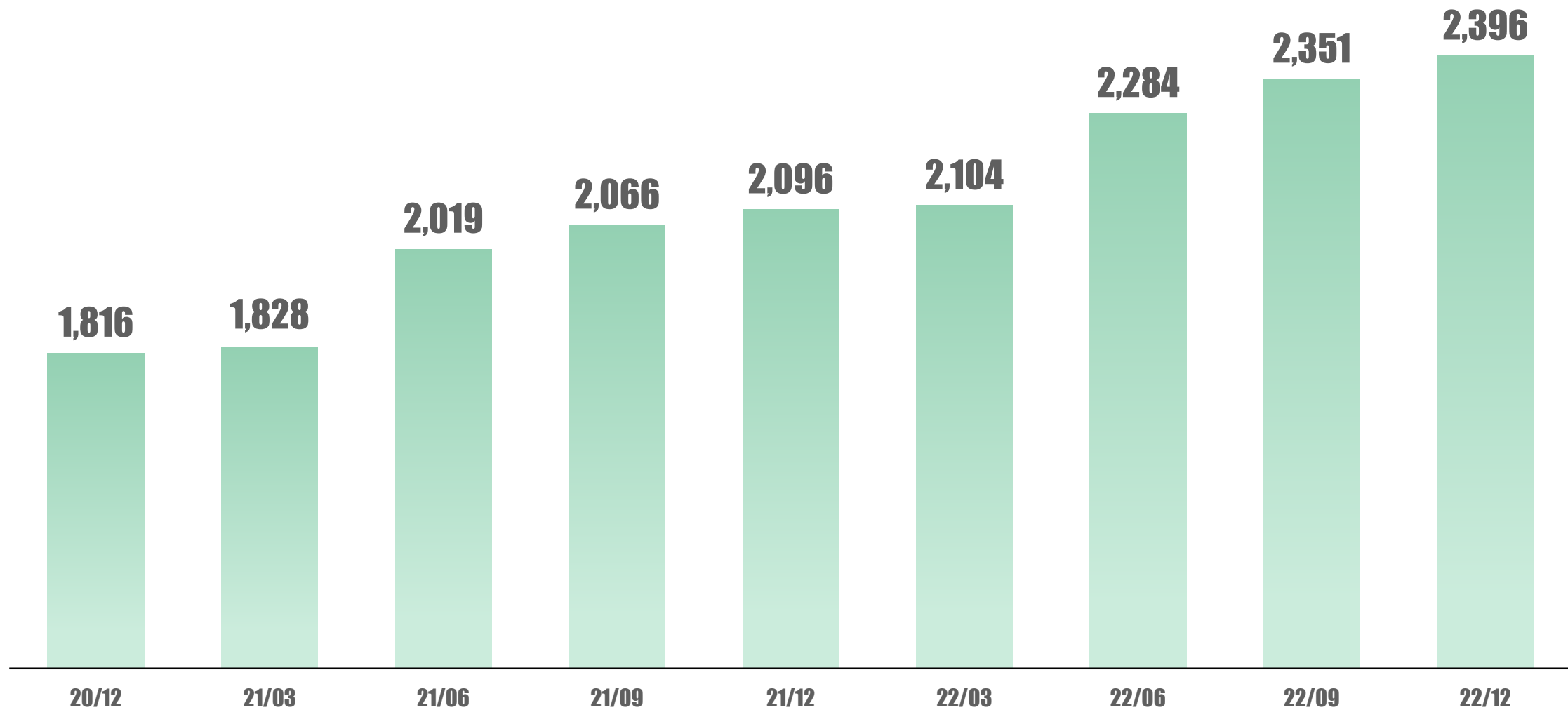
## 書籍返品率 ※1



※1 書籍（雑誌は含まず）発行点数及び返品率は(株)Gakken と(株)地球の歩き方の合算です。(株)文理の数値は含みません。

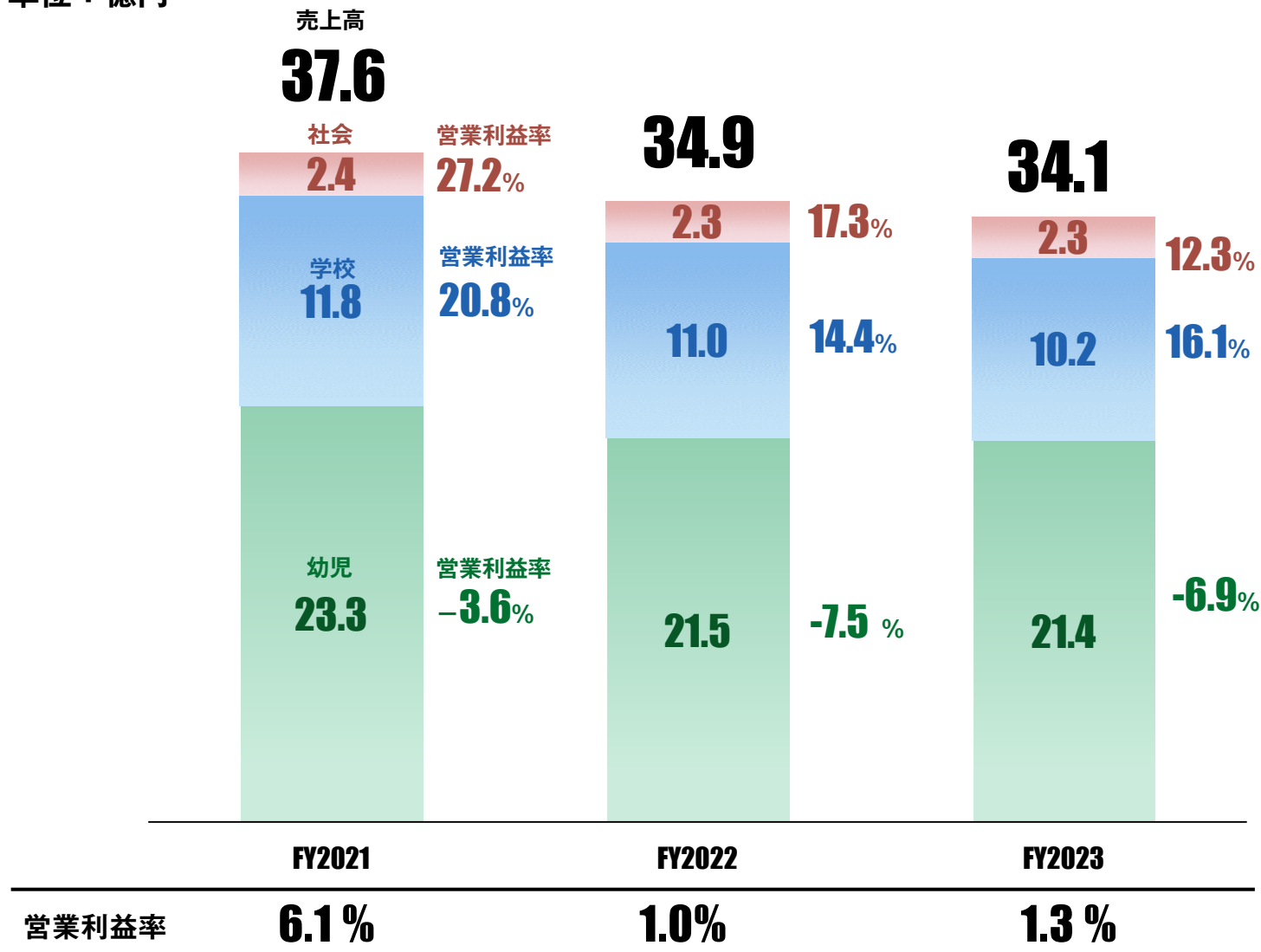
※2 (株)地球の歩き方の実用書新刊点数について：2021年グループイン当初の発行所・発売元変更に伴う新刊発刊は、同年の実用書新刊点数から差し引いています。

# 医学・看護事業 看護師向けeラーニング契約病院数



# 園・学校事業 第1四半期決算サマリー

単位：億円



## ポジティブ要素

- ・ 営業体制強化
- ・ 業務効率化とコストコントロール

## ネガティブ要素

- ・ 教科書改訂の端境期
- ・ オミクロン株の影響長引き  
幼保園向け備品・用品受注が低調
- ・ (株)TOASUの企業向け研修  
事業が低調

※単位未満は切り捨てです。

# 学校事業 教科書発行スケジュール

△ 検定：文部科学省の調査（教科書としての適正性）

● 採択：所管の教育委員会による教科書の決定

◎ 使用開始：各学校に供給し、児童生徒へ

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
小学 保健	●	◎		△	●	◎		△
中学 保体	△	●	◎		△	●	◎	
小学 道徳	●	◎		△	●	◎		△
中学 道徳	◎ △	●	◎		△	●	◎	

※教師用指導書の売上は「◎使用開始」年度に集中します。

---

# 医療福祉分野 第1四半期決算

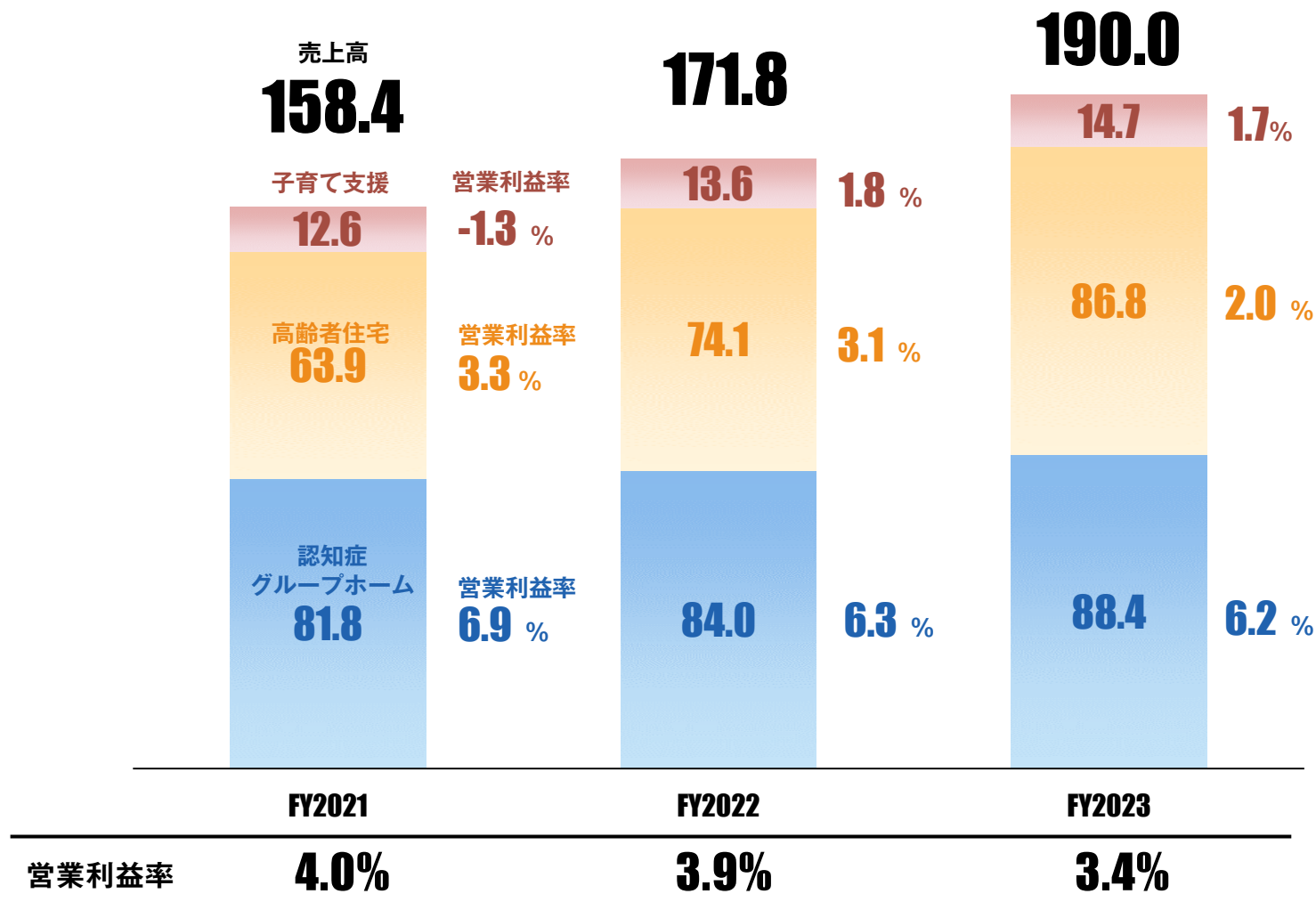
---

3つの事業で少子高齢化の社会課題に挑み、多世代が安心して暮らせる街づくりを進めます。

- 1)高齢者住宅事業 … サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営
- 2)認知症グループホーム事業 … グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営
- 3)子育て支援事業 … 保育園・子ども園・学童施設・児童発達支援施設等の企画・開発・運営

# 医療福祉分野 第1四半期決算サマリー

単位：億円



## ポジティブ要素

- ・新規開設順調
  - 高齢者住宅（4事業所）
  - 認知症GH（3事業所）
  - 子育て支援施設（4事業所）
- ・入居率、充足率は過去最高水準
  - 高齢者住宅 94.5%
  - 認知症GH 97.3%
  - 保育園 92.2%

## ネガティブ要素

- ・光熱費の高騰によるコスト増（既存店比較で約2.5億円の増加）
- ・建設費高騰に伴う新規開設への影響

※単位未満は切り捨てです。



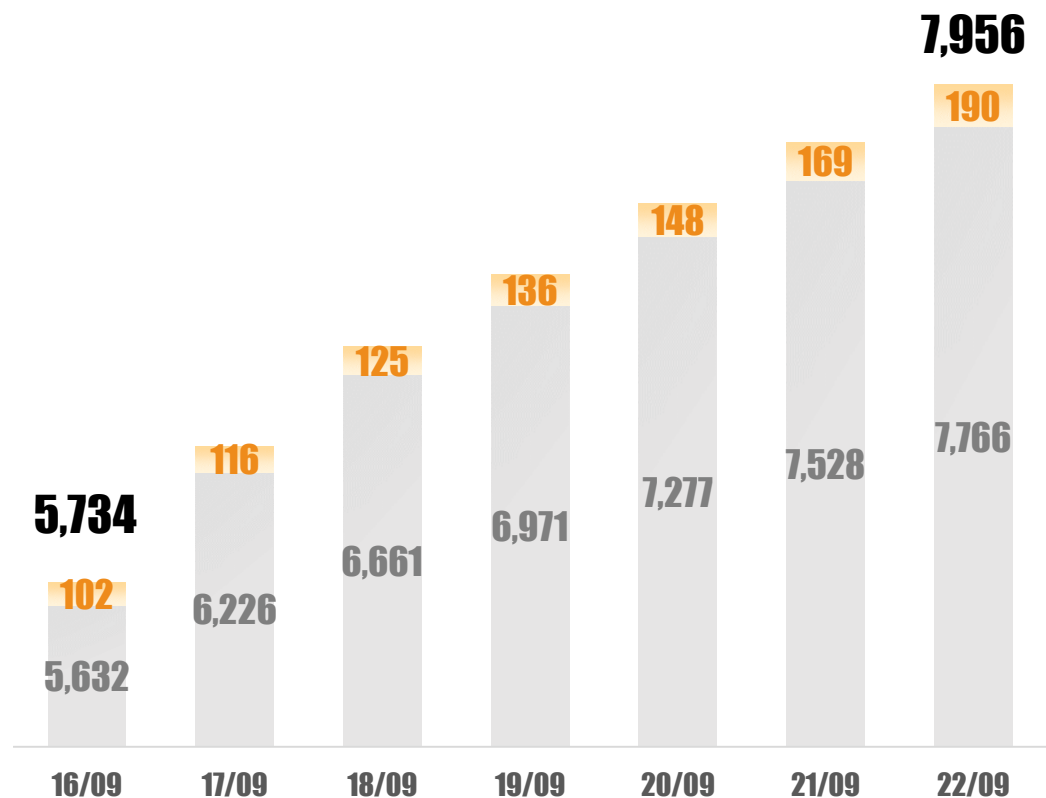
# 医療福祉分野 高齢者住宅事業の業界全体におけるプレゼンス

## サービス付き高齢者向け住宅 登録棟数推移<sup>※</sup>

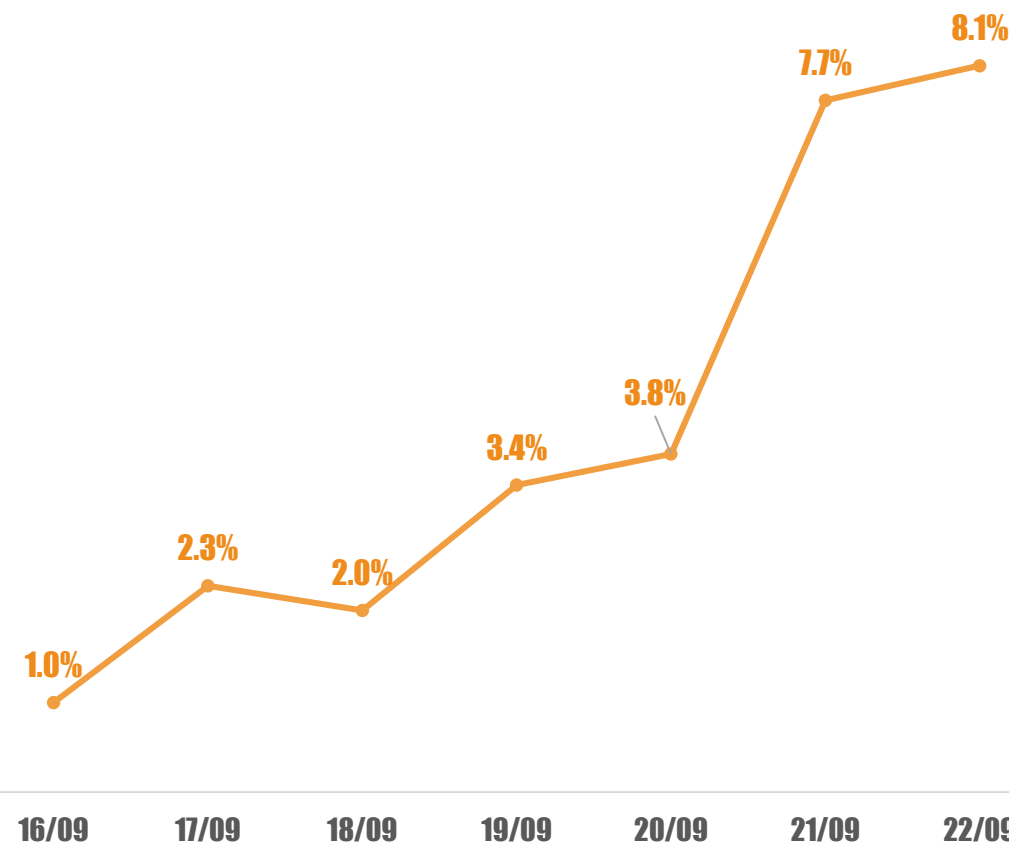
単位：棟数

当社サ高住

他社サ高住



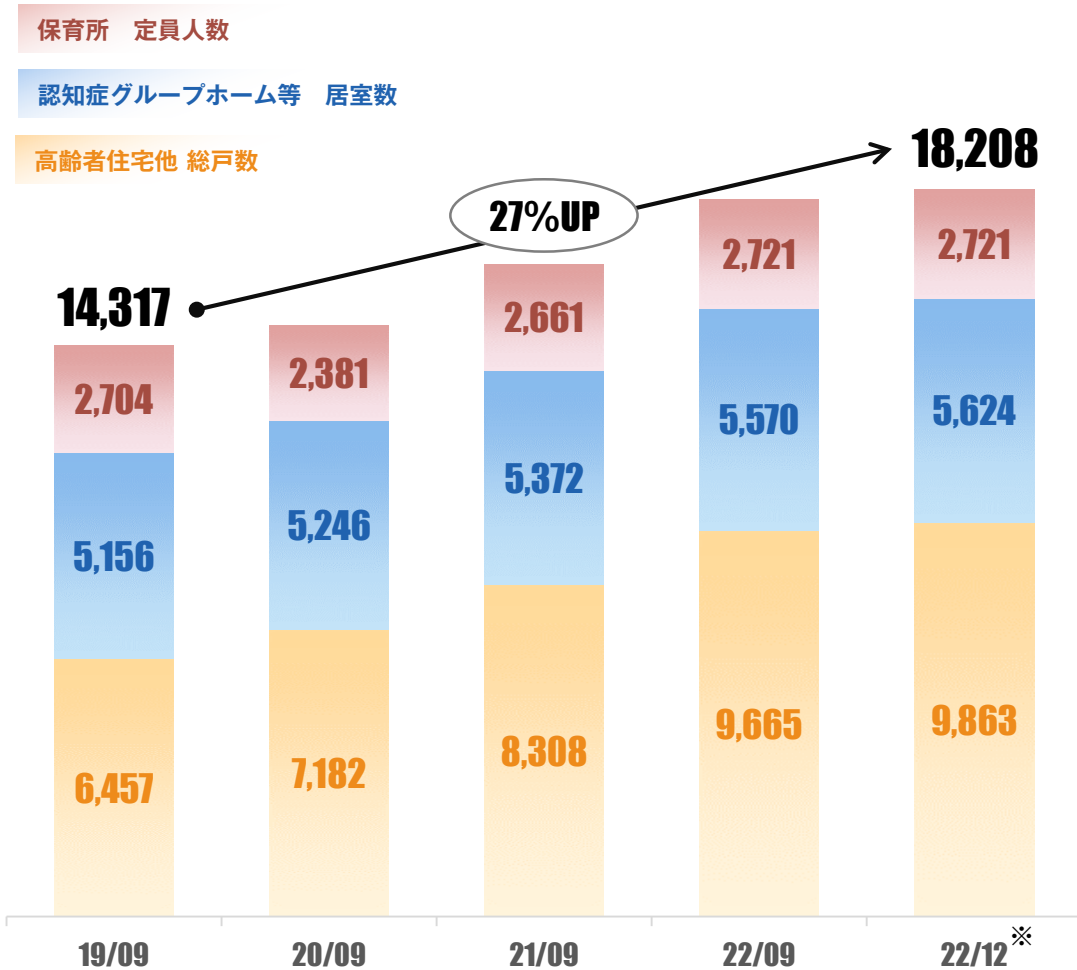
## 業界全体の施設増加数における当社シェア<sup>※</sup>



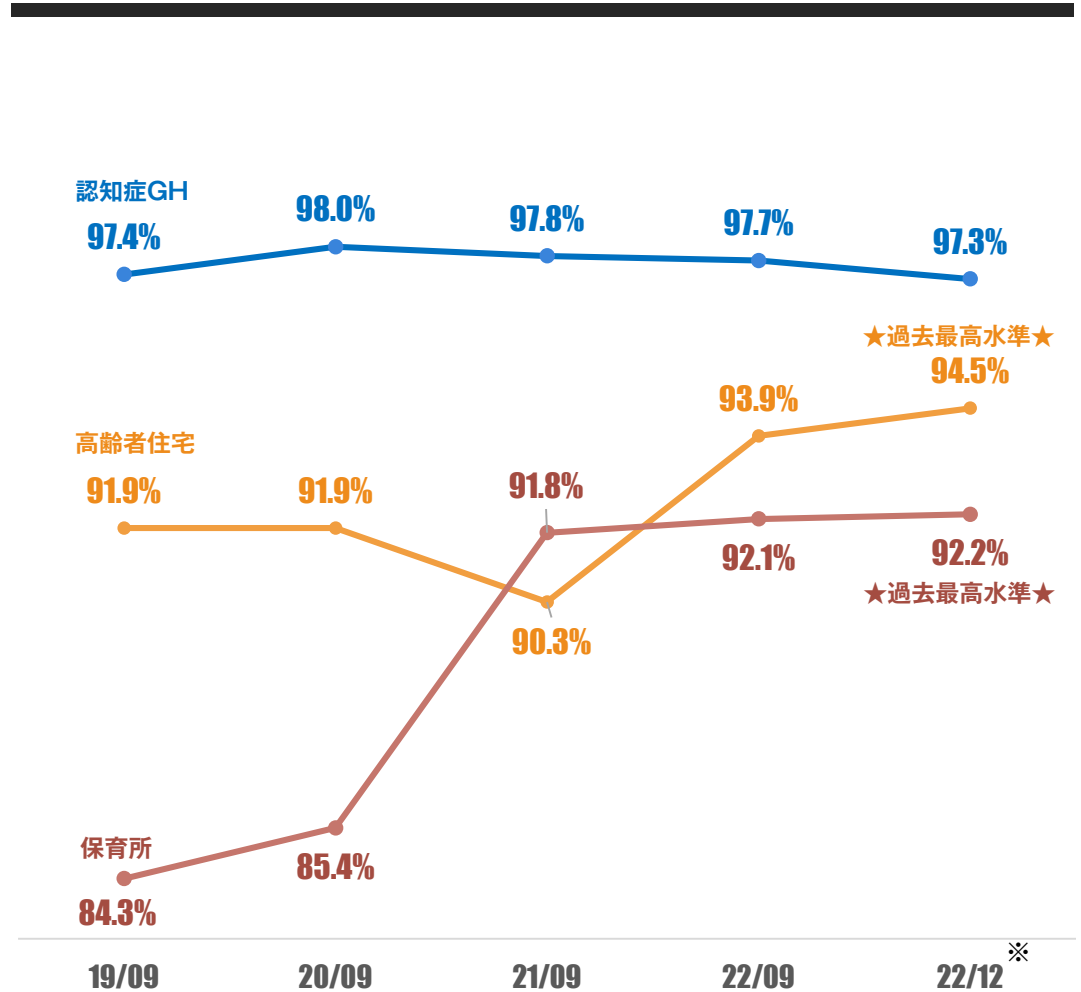
<sup>※</sup>国土交通省ホームページ <https://www.mlit.go.jp> サービス付き高齢者向け住宅の登録状況を参照のうえ作成

# 医療福祉分野 キャパシティ拡大と稼働状況向上

## 総戸数・居室数・定員数推移



## 入居率・充足率推移



※22/12は3か月間の数値

# 新規開設計画と進捗

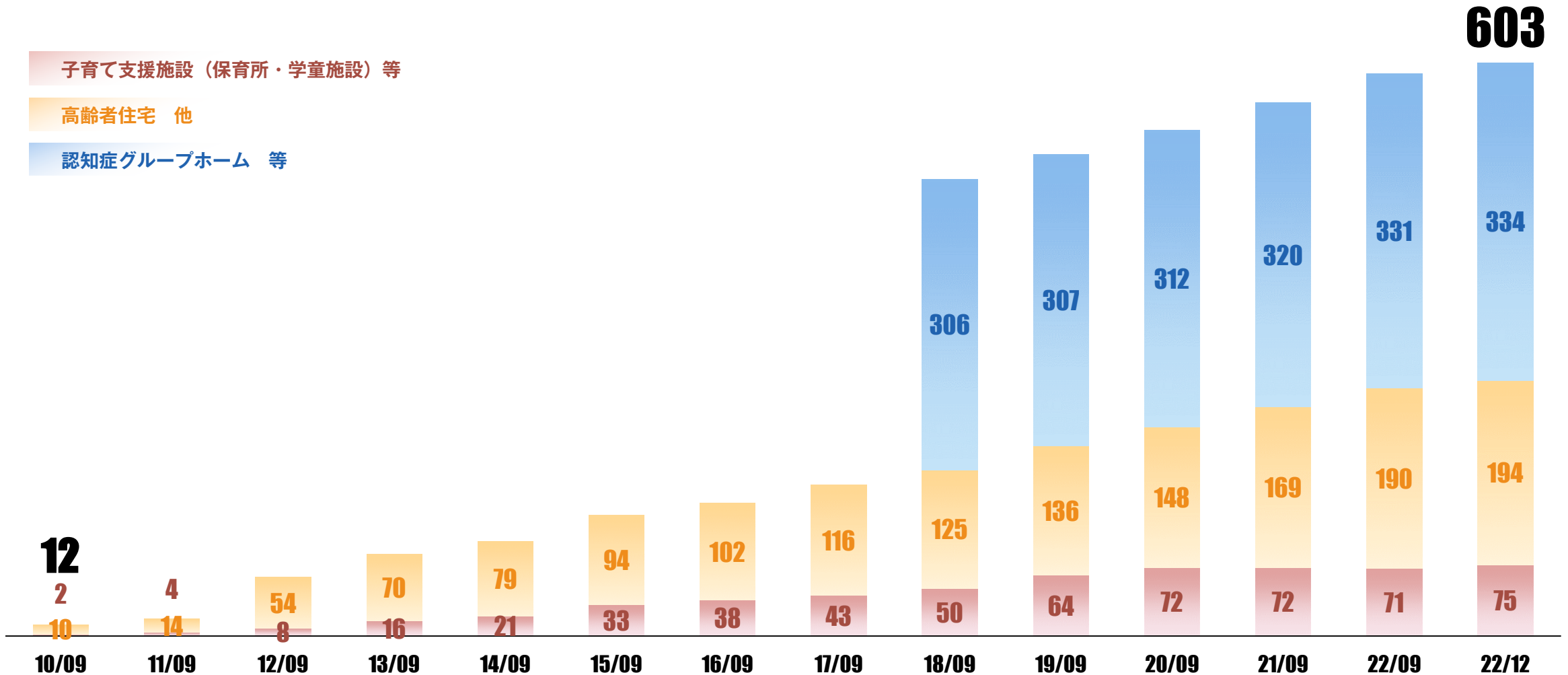
- ・高齢者人口の増加に伴う需要増に対応するため、積極的な新規開設計画ペースを維持
- ・一定数を自社開発からM&Aにシフトして開設数を積み増し、当期見通しの上積みを目指す

単位：開発数

	FY2022	FY2023	FY2023			
	通期開設実績	見通し	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績
高齢者住宅	<b>21</b> 事業所 (22棟)	<b>16~22</b>	<b>4</b>			
認知症 グループホーム	<b>11</b>	<b>12~15</b>	<b>3</b> (M&A:1件含)			
子育て支援施設	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>4</b>			
合計	<b>35</b>	<b>32~41</b>	<b>11</b>			

※子育て支援施設は保育園・学童施設・児童発達支援施設・子育てステーションの合算です。  
 ※記載の数値は、同期間の閉鎖数を差し引いていません。

# 拠点数



※記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。

---

# 決算補足資料

---

# 中期経営計画 Gakken2023

## 「揺るぎない成長基盤の確立」

### 教育

新たな学びの創造と  
多様な学習機会の創出

### 医療福祉

トップカンパニーを目指し  
持続可能な街づくりに貢献

### DXの加速とグローバル展開

グループガバナンスの強化と資本コスト経営

・  
・  
・  
**持続的な  
企業価値向上**

# Gakken2023 3か年の業績推移

21年9月期は売上・利益とも計画を達成

22年9月期はオミクロン株感染拡大や、光熱費高騰等の影響により売上・営業利益とも計画未達

23年9月期見通しはコロナ再拡大や物価高に伴うコスト増などの影響を考慮

単位：億円

連結	2021年9月期		2022年9月期		2023年9月期	対前期 実績
	計画	実績	計画	実績	見通し	
売上高	1,460	<b>1,503</b>	1,570	<b>1,560</b>	<b>1,620</b>	<b>+60</b>
営業利益	56.0	<b>62.4</b>	67.0	<b>64.3</b>	<b>67.0</b>	<b>+2.7</b>
営業利益率	3.8%	<b>4.2%</b>	4.2%	<b>4.1%</b>	<b>4.1%</b>	<b>±0.0 %</b>
経常利益	57.0	<b>61.3</b>	68.0	<b>69.3</b>	<b>70.0</b>	<b>+0.7</b>
当期純利益	28.0	<b>26.2</b>	34.0	<b>34.4</b>	<b>36.0</b>	<b>+1.6</b>
ROE	6.5%	<b>6.3%</b>	7.1%	<b>7.2%</b>	<b>7.2 %</b>	<b>±0.0 %</b>

※単位未満は四捨五入です。

# 2023年 9月期 セグメント別 見通し

教育は社会人向け事業とDXで収益力向上。医療福祉は新規開設・コスト・品質の好バランス堅持

単位：億円

セグメント	事業	2022年9月期 実績		2023年9月期 見通し		増減 (対前期)	
		売上高	営業利益	売上	営業利益	売上高	営業利益
<b>教育分野</b>		<b>781.7</b>	<b>44.3</b>	<b>798.1</b>	<b>49.8</b>	<b>+16.4</b>	<b>+5.6</b>
	教室・塾	314.4	12.7	316.0	14.1	+1.6	+1.4
	出版コンテンツ	323.7	31.7	333.6	32.6	+9.9	+1.0
	園・学校	143.6	3.0	148.5	4.6	+4.9	+1.6
	のれん	—	-3.1	—	-1.5	—	+1.6
<b>医療福祉分野</b>		<b>722.4</b>	<b>31.5</b>	<b>758.5</b>	<b>35.1</b>	<b>+36.2</b>	<b>+3.6</b>
	高齢者住宅	323.7	14.2	352.3	17.6	+28.6	+3.4
	認知症グループホーム	341.0	20.7	346.3	20.9	+5.3	+0.2
	子育て支援	57.6	1.2	60.0	1.2	+2.4	+0.0
	のれん	—	-4.6	—	-4.6	—	+0.0
<b>その他</b>		<b>56.3</b>	<b>8.1</b>	<b>63.3</b>	<b>4.1</b>	<b>+7.0</b>	<b>-4.0</b>
<b>調整額</b>		—	<b>-19.6</b>	—	<b>-21.9</b>	—	<b>-2.3</b>
<b>グループ合計</b>		<b>1,560.3</b>	<b>64.3</b>	<b>1,620.0</b>	<b>67.0</b>	<b>+59.7</b>	<b>+2.7</b>

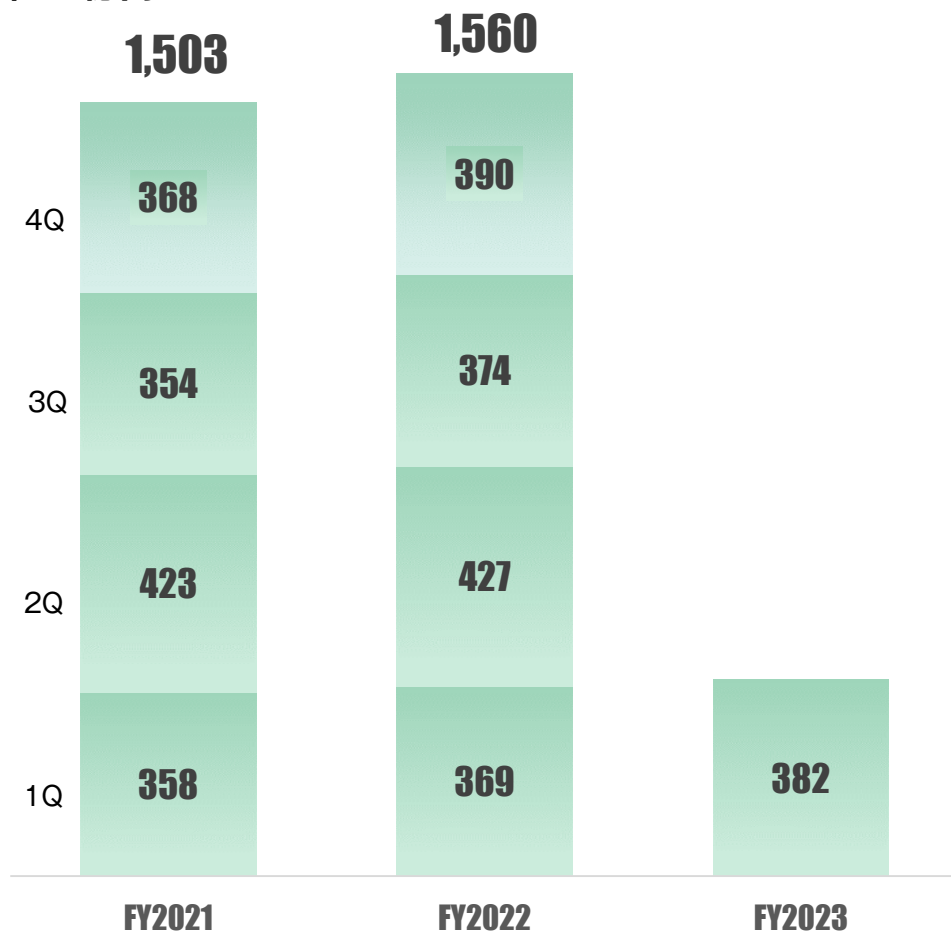
※単位未満は四捨五入のため、合計値が合わない箇所があります。



# 四半期毎 業績推移 (直近3力年)

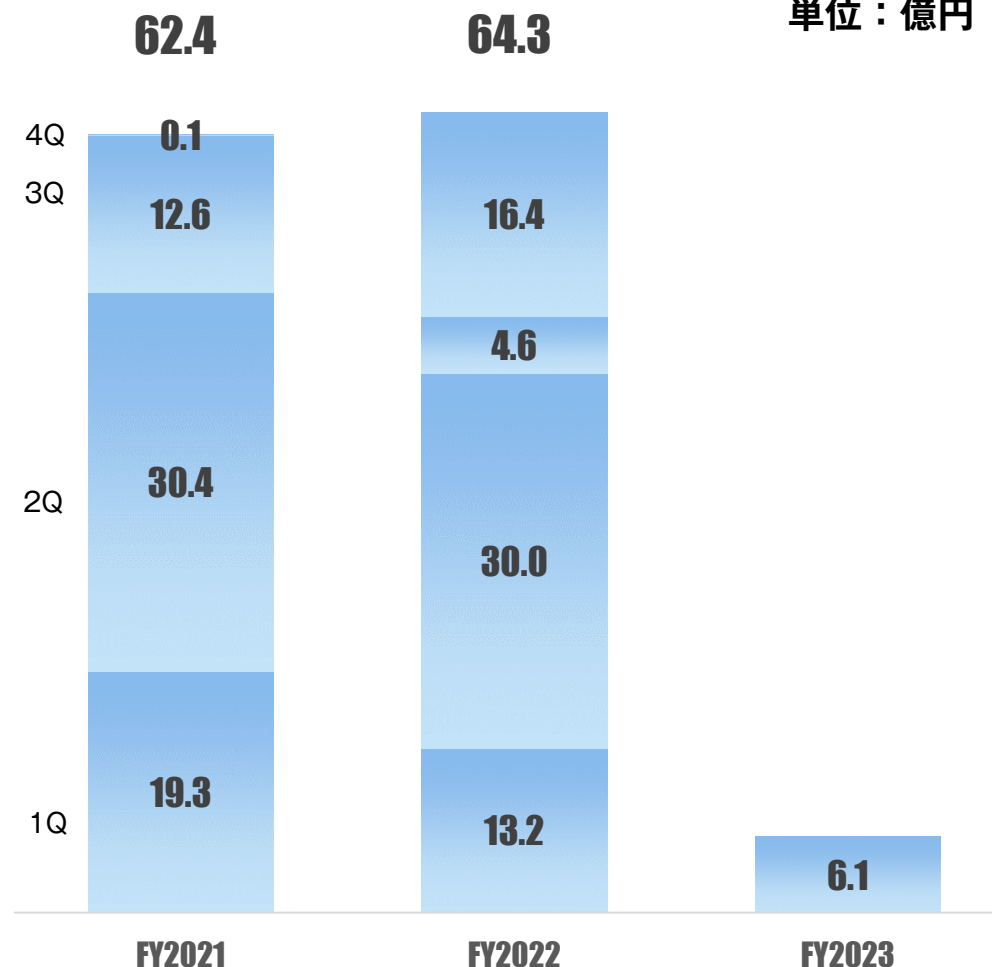
## 売上高

単位：億円



## 営業利益

単位：億円

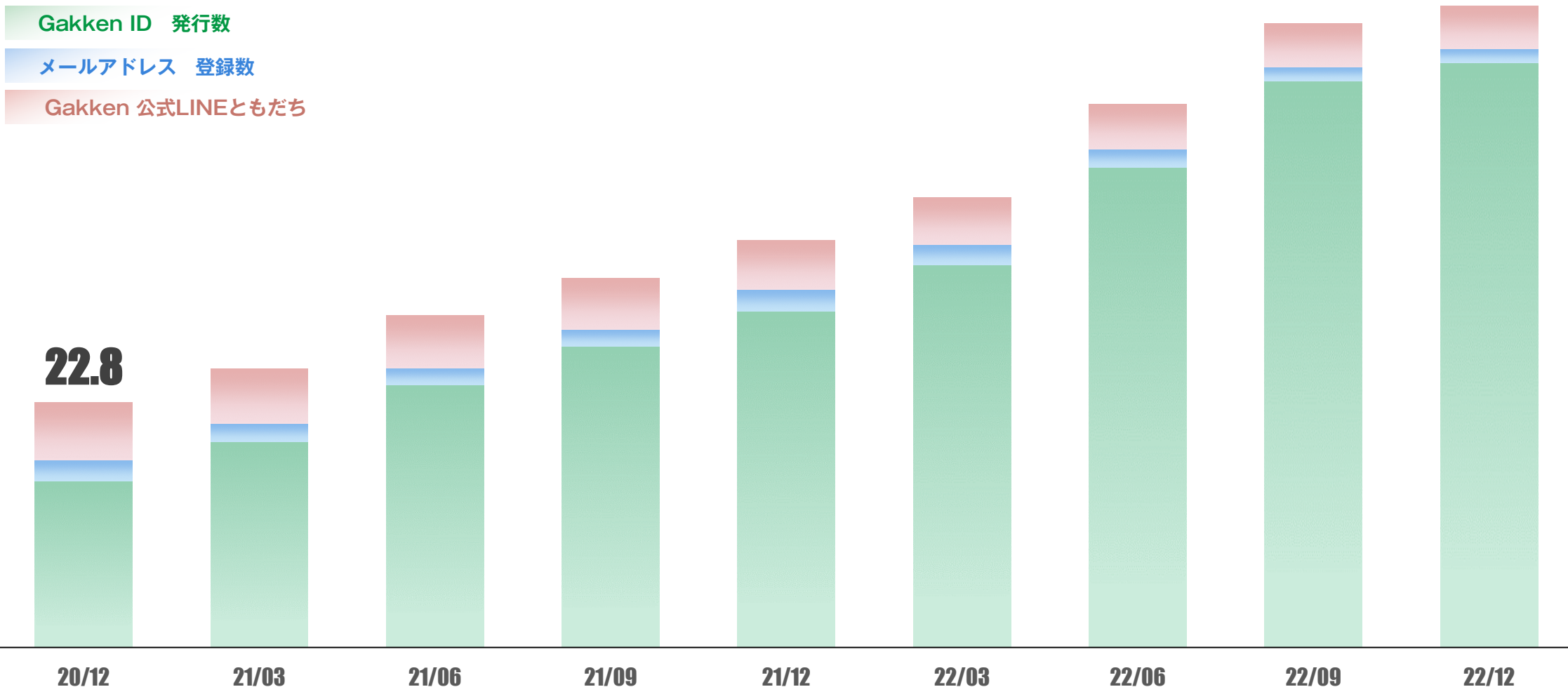


※単位未満は四捨五入です。

# DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント

個別サービス毎のID取得は60万を突破。サービス間の連携を進め、顧客LTV向上を目指す

単位：万件



# 医療福祉分野 入居率・充足率

		20/03	20/09	21/03	21/09	22/03	22/09	22/12
高齢者住宅	総戸数	6,898	7,182	7,717	8,308	9,037	9,665	9,863
	入居数	6,289	6,600	6,985	7,505	8,345	9,073	9,323
	入居率	91.2%	91.9%	90.5%	90.3%	92.3%	93.9%	94.5%
認知症グループホーム <sup>※1</sup>	居室数 <sup>※2</sup>	5,210	5,246	5,300	5,372	5,444	5,570	5,624
	入居率	97.9%	98.1%	97.6%	97.8%	97.6%	97.7%	97.3%
子育て支援施設	定員数 <sup>※3</sup>	2,497	2,788	2,788	2,661	2,664	2,721	2,721
	園児数	2,107	2,381	2,389	2,443	2,441	2,505	2,509
	充足率	84.4%	85.4%	85.7%	91.8%	91.6%	92.1%	92.2%

- ※1 認知症グループホームは、運営事業会社のメディカル・ケア・サービス(株)は2021年9月期より決算期を変更しました。これに伴い2021年3月以前の実績は、9月が「8月」、3月が「2月」をそれぞれ読み替えております。
- ※2 認知症グループホームの居室数に海外および他区分施設の居室数は含まれません。
- ※3 子育て支援施設の定員数は保育所のみ。

# Gakken

**Gakken Group hopes that everyone has fulfilling lives.  
To this end, we provide inspiration, satisfaction, safety for today,  
and dreams and hopes for tomorrow.**